



石見幼稚園 地域だより



令和4年2月22日号
浜田市立石見幼稚園

鬼面や豆入れを作りました！（節分）

今年の節分は、まん延防止等措置期間中のため、登園を自粛される家庭もあったので、幼稚園での豆まきは行わず、園で作った鬼面や豆入れを持ち帰り、家庭で行ってもらうことにしました。

1月末から各クラスでは鬼面作りや豆入れ作りが始まりました。年少児は帽子タイプの鬼面、年長児は箱ティッシュの空き箱を利用した鬼面。それぞれの年齢にあわせ、また自分なりの表現を楽しめる鬼面作りを行いました。豆入れは、年少児は画用紙を切った折り紙でコップを折り、肩ひもをつけ、ショルダーバック式の豆入れです。年長児は例年、折り紙で三方を折る経験を重ね、画用紙を切ったビッグサイズの折り紙で三方を作ります。折り紙の折り方もだんだんと上手になっています。折り紙上手なメンバーは友だちに折り方を丁寧に教えています。人に教えることで、さらに折り紙の腕前が伸びているようです。

雪遊びを楽しみました！！（17日・18日）

～この冬初めての積雪～

今年は雪が積もらないのかなと思っていましたが、やはり2月！雪が降りました。真っ白に雪化粧した園庭へ子ども達はすぐに飛び出していきます。前日、きっと寒くなるだろうと担任が予想してタライに水を溜めておきました。案の定、氷が出来上がっており、子ども達は大喜びです。

うっすら積もった雪をせっせと集めて、可愛いハート型の雪玉やミニミニ雪だるま、雪ウサギも完成！園庭の隅に残っていた南天の赤い実や小枝、砂遊び用のカップも利用して工夫して作っていました。

翌日は屋根から落ちた雪をタライに集め、踏み固めてひっくり返し、見事！大きなケーキ(?)が出来ました。また、手袋をびしょ濡れにしながらも雪玉を作っては屋根に乗せようと繰り返し投げている人、年少児のために投げる雪玉を作ってあげている人、年少児に雪玉を投げるコツを身振りを交えながら教えている人、遊びの中にもいろいろな姿（挑戦意欲、思いやり、コミュニケーション力など）を見ることができます。



↑ 年長児の鬼面作りの様子です。

- 1日目：箱ティッシュの空き箱にローラーを使って好きな色を塗ります。「私は青鬼！ローラーを使うと色を付ける時早く塗れるね！」
- 2日目：乾いた土台に素材を貼り付けたり描いたりしてオリジナル鬼面の完成です。「画用紙を丸めて角にしようかな？」「折り紙を切って貼るよ。」「私はキラキラテープや毛糸も使ってみたいな！」



↑ 年少児が作った帽子型鬼面です。

鮭の赤ちゃん、順調に育っています！！

1月に「下府川を楽しむ会」の方から鮭の卵を預かり、飼育してきた可愛い鮭の赤ちゃん（仔魚）は18尾。お腹の袋の栄養分も次第に少なくなり、紅かったお腹も色が変わってきています。お腹がぺたんこになると、内臓が出来上がるのだそうです。最近では、背びれや胸びれも見えるようになってきました。水槽の底を這うように泳いでいた鮭達も、次第に水槽の中ほどを泳ぐ姿も見られるようになってきました。

「下府川を楽しむ会」の方々が下府川へ放流される日は、本園の卒園式と同日ということで、園児の放流体験は断念しました。

卒園児達と同日に石見幼稚園の水槽から下府川へ放流される稚魚達もすくすくと育っていきますように！



「第8回びよびよの会（未就園児の会）」について

今年度最後となる第8回びよびよの会（1月19日開催予定でした）は新型コロナウイルス感染症予防対策のため延期を考えていましたが、残念ながら中止することとしました。楽しみにしておられた会員の皆様、申しわけございません。早く、感染症が落ち着き、5月には次年度の初回を開催できますように！！今しばらくお待ちください。

石見幼稚園の魅力的な環境その⑩～玄関の鏡前ギャラリー？～

お客様がお見えになる時、石見幼稚園の玄関には素敵な子ども達の作品が展示してあります。

2月は折り紙で折った鬼の顔や三方が飾られていました。季節に合わせて、遊びの中で作ったものが届きます。

「持ってきたので飾ってください。」

「記念撮影もしようよ！」

どんな風に飾ろうかと、園長先生と一緒に相談する子ども達はちょっぴり誇らしそうです。



1月 園の草花などの紹介・・・ピオラ・テージー・プリムラ・サクラソウ・矢車草・スイセン

